

# 太田東西かわら版

おんころころ せんだりまとうぎ そわか

2022.9

## でも、おかげで

## 口ぐせにする生き方



私が体調を崩したのが、今から1年前。東京の義母を救うことができず自分を責めて、自分を不甲斐なく思い、自分を情けなく思った。

自分に対するそうしたネガティブな感情は、自分への“攻撃”となり、やがて体だけではなく、心まで病んでしまいました・・・。

「結果ではなく過程にこそ価値がある」。病気を治してあげたのか？という結果よりも、「最後まで何をやってあげたのか？」。そのほうに価値がある。義母が亡くなって1年が経ち、やっとそう思える自分になりました。それに合わせて、心身の健康が回復していったように感じます。

東京長崎を1ヶ月5往復して、主治医たちと治療方針を話し合い、最後は化学療法はせず在宅介護で寄り添うことに義妹家族と決めた。

結果、治してあげることではできなかったけれど自分は「最善を尽くした」「よく頑張った」。自分を認めることができるようになりました。



「人生には3つの坂（さか）がある」と言われます。

<上り坂>

<下り坂>

そして・・・ <まさか>（° 冫 °）

「ラッキー！ついてる！」。すべて願ったとおりに結果がなる。運氣上昇の上り坂の時は、迷うことも悩むこともない。しかし人生は上り坂よりも、圧倒的に「下り坂が多い」。

お釈迦様はそれを「四苦八苦」と言いました。四苦（生老病死）＝生まれて老いて病んで死んでいく苦しみ。愛別離苦（愛する人と離れる別れる苦しみ）、怨憎会苦（憎たらしい人と出会う苦しみ）、求不得苦（望むものが得られない苦しみ）、五蘊盛苦（色・受・想・行・識から起こる執着の苦しみ）。

義母との死別は、まさにその「まさか」だった。その後、愛別離苦から自分の“病苦”という「下り坂」を経験することになった。

「生きるということは、苦しみでしかない・・・」

下り坂を長く歩んだ私の、それが最終結論なのか？

いいえ！ 人生の坂には、もう一つあることがわかりました。

## < 弥栄（いやさか） >

「ますます栄える」「繁栄する」という意味です。  
端的に言えば、「バンザイ＼(^o^)/」ということです。

私の眠れないという不眠症はかなり重症で、睡眠薬も効かず、朝5時まで覚醒していた日もありました。必然、朝から起き上がることもできず、仕事もできなくなりました……。その不眠の原因の一つが、全身の痒みでした。知る限りの薬を飲んで、一向に治らず、皮膚はボロボロになりました。「生きることが辛い、もう死んでしまいたい」。そこまで思い詰めました。しかし……

そんな下り坂にいる自分を、冷静に上から眺める、もう一人の自分がいました。「辛いと思うけど、それには必ず意味がある。辛い体験から、新しい発見が得られる。より良い人生が待っている。必ず治ると信じて、あきらめないで」どん底に居る自分に、上り坂の上から眺める自分が、そう語りかけるのです。

「どうしてもなかなか治らないのか……」「自分の病気の根本原因は何か？」苦しみながらも、それを探求していきました。そして、3つの新しい“特効薬”と出逢うことができたのです！ 😊

私の専門の漢方はアジアですが、一つは“フランス”にありました。ヨーロッパの植物の新芽を原料とする<ジェモセラピー>。



私の不眠・うつは、右端の<デタントリス>というジェモで快方に向かいました。

そして、左端の<クロモジ>お隣の<アカマツ>が、今流行り病で苦しんでいるお客様の健康にとっても役立っています！

続いては、“アマゾン”（ネットのAmazonではなく、南米のジャングルです(^-^）。



私（56歳）の年齢的な症状  
「副腎疲労」「男性更年期障害」が  
南米アマゾンの薬草からなる

＜ダイヤモンド＞

＜コパイバマリマリ＞で改善。

こちら今、流行り病で活躍中。

そして最後3つ目は、お膝元の“日本”。



＜クロモジ（黒文字）＞という

古来より重宝された薬草。しかし  
漢方薬剤師の私も知らなかった  
くらい、マイナーで地味な存在。  
今回、その効果を自らの病気で  
体感、惚れ込みました〜❤️  
流行り病の劇的回復で、すでに  
大ファンのお客様も多いですね。

これら新しい処方に出会えたきっかけは、「自分が病気で苦しんだから」です。  
自分の健康に何の悩みもない状態なら、絶対に出会うことはなかった。  
健康を失ったおかげで、自分を見つめ直すことができ、既存の漢方処方以上に  
今の流行り病に大活躍してくれている、これら処方が薬局に新加入した。  
お客様に喜んでいただき、薬局の売上と信頼アップにもなって、“まさか”の  
下り坂に陥っていた私は、気づけば“弥栄（いやさか）”に転じていた。

願いが叶わない人生の“下り坂”。「どうして自分がこんな目に遭うのか？」と  
いう“まさか”の突然のアクシデント。その時、行く先は2つに分かれます。  
「自分は不幸だ」と転がり落ち続けるか？ あるいは「でも、おかげで」と  
思い変え、辛く苦しい下り坂から、“弥栄”の上り坂に進路変更できるか？

私は、仕事もできなくなるくらい大きく健康を失いました。“でも、おかげで”  
その体験からそうした患者さんたちの気持ちに、さらに共感できるようになり  
新しい処方にも出会えて、さらに薬剤師として自信を持つことが出来ました!!

「でも、おかげで」。苦しみを感謝に変えるこの言葉は、下り坂を弥栄にする  
魔法の言葉です。弥栄という坂道を歩むため、常に口ぐせにしましょう！😊